

Q.

最新の世界のインフレ見通しはどうなっていますか？

A.

IMFによると、物価上昇率は徐々に低下するものの、多くの国でインフレ目標に収まるには、2025年までかかるとみられています。

- ◆ 国際通貨基金（IMF）が2023年4月に公表した世界経済見通しによると、2022年に多くの国・地域で急上昇したインフレは、主要中央銀行によって大規模な金融引締めが続けられていることや、エネルギーや商品価格の下落等により、2023年は世界の76%の国々で前年よりも物価上昇率が低下するとみられています。
- ◆ ただし、前回2022年10月の見通しから、先進国、新興・発展途上国ともに予想が引き上げられました。先進国では、2023年はユーロ圏で予想が引き下げられた一方、米国で1.0%、日本で1.3%引き上げられました。さらに、**日本は2024年も1.1%引き上げられて+2.2%と予想されており、従来よりもインフレ傾向が続く見通し**となっています。
- ◆ 継続的に金融引締めが行われているにも関わらず、労働市場は非常にひっ迫し、経済活動も堅調であることから物価上昇圧力は根強いものとなっています。このため、72カ国・地域（34の先進国と38の新興・発展途上国）中、2023年では97%、2024年でも91%で物価がインフレ目標を上回る状態が続き、**インフレ目標に収まるようになるには多くの国で2025年までかかる**とみられています。

### IMFのインフレ見通し（2023年4月）

年	2022	2023	2024	前回見通しからの修正幅（ポイント）	
	（実績）	（予想）	（予想）	2023	2024
<b>先進国</b>	<b>7.3</b>	<b>4.7</b>	<b>2.6</b>	<b>0.3</b>	<b>0.2</b>
米国	<b>8.0</b>	<b>4.5</b>	<b>2.3</b>	<b>1.0</b>	<b>0.1</b>
ユーロ圏	<b>8.4</b>	<b>5.3</b>	<b>2.9</b>	<b>▲ 0.4</b>	<b>0.2</b>
日本	<b>2.5</b>	<b>2.7</b>	<b>2.2</b>	<b>1.3</b>	<b>1.1</b>
<b>新興・発展途上国</b>	<b>9.8</b>	<b>8.6</b>	<b>6.5</b>	<b>0.5</b>	<b>1.2</b>

（注1）表中、単位は%。2023～2024年はIMF予想。

（注2）前回予想は2022年10月時点。

（出所）IMFのWorld Economic Outlook Apr.2023 を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DS アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。